

1 景気動向全体

内閣府「月例経済報告」

令和4年10月25日に発表された「月例経済報告」では、景気は、緩やかに持ち直している。

先行きについては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、各種政策の効果もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、世界的な金融引締め等が続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、供給面での制約、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。

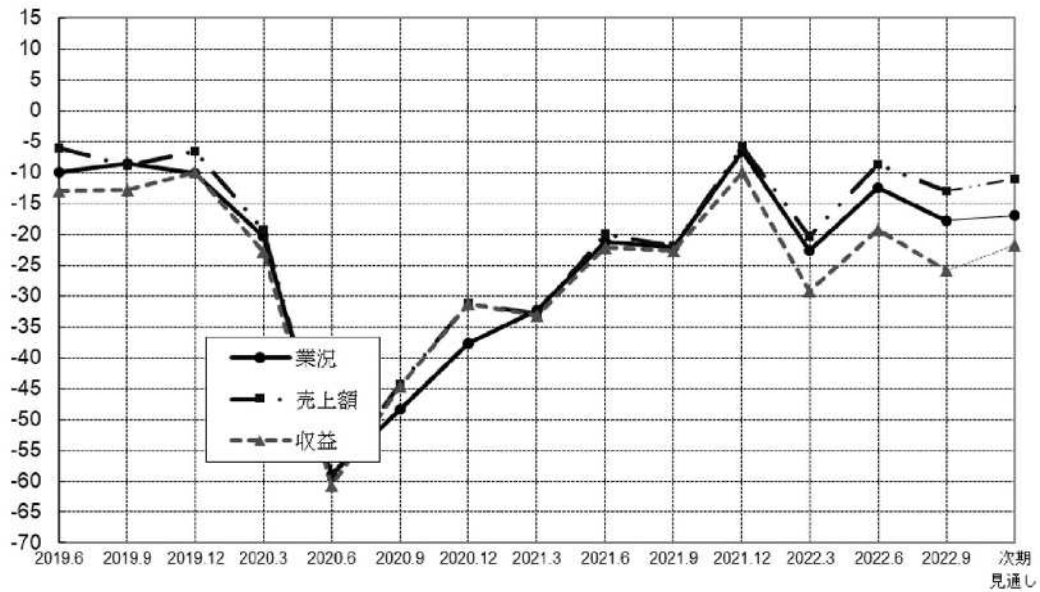
2 市内経済の状況・動向

(1) 景況感について

川崎信用金庫「中小企業動向調査（2022年7-9月期）」（9月上旬調査、9月30日発表）では、川崎市内中小企業の景況感を総合的に示す業況DI（業況判断指数）は、前期比5.4ポイント減の△17.8と悪化している。

概況／業況DI 最新と見通し								前期比増減	
業種	2021年			2022年			見通し	今期	見通し
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9		7-9	10-12
全 体	△ 21.2	△ 22.1	△ 6.5	△ 22.7	△ 12.4	△ 17.8	△ 17.0	△ 5.4	0.8
製 造 業	△ 11.8	△ 7.9	△ 8.7	△ 12.4	△ 19.9	△ 19.2	△ 18.4	0.7	0.8
卸 売 業	△ 54.3	△ 45.2	△ 11.8	△ 41.2	△ 29.5	△ 25.0	△ 27.7	4.5	△ 2.7
小 売 業	△ 48.4	△ 62.5	△ 35.3	△ 38.5	△ 42.0	△ 45.1	△ 42.0	△ 3.1	3.1
建 設 業	△ 20.7	△ 14.1	△ 6.8	△ 10.7	△ 4.9	△ 5.4	5.4	△ 0.5	10.8
不 動 産 業	△ 13.3	△ 15.9	3.5	△ 9.1	5.6	△ 9.9	△ 13.1	△ 15.5	△ 3.2
運 輸 業	14.3	△ 11.8	17.7	△ 20.6	△ 16.7	△ 18.2	△ 9.1	△ 1.5	9.1
サ ー ビ ス 業	△ 22.8	△ 22.9	△ 1.7	△ 34.2	2.6	△ 11.4	△ 16.3	△ 14.0	△ 4.9

DIの推移



(出所：川崎信用金庫「中小企業動向調査」)

(2) 雇用の動向について

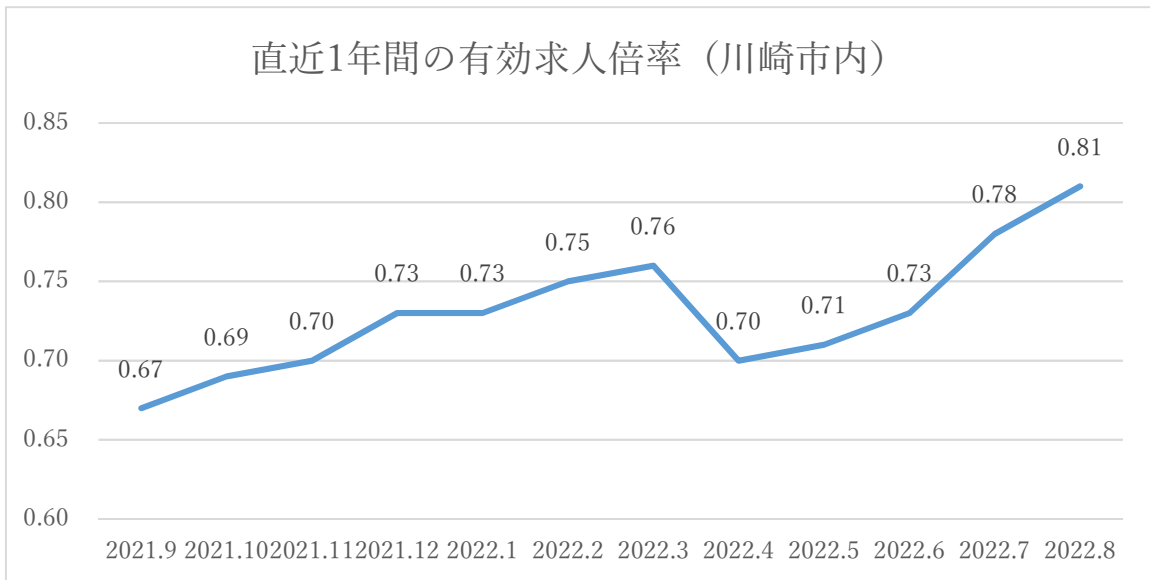
10月末に発表された神奈川県労働局「有効求人倍率」(月末調査、毎月1日頃発表 2か月前時点の情報、川崎・川崎北公共職業安定所管内)では、市内の有効求人倍率は前月比0.03増と改善している。

・有効求人倍率の推移(川崎市)

(単位 人・倍)

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
有効求人数	15,658	15,852	15,366	15,639	16,011	16,318	16,818
有効求職者数	20,837	20,961	21,797	22,026	21,839	20,961	20,767
有効求人倍率	0.75	0.76	0.70	0.71	0.73	0.78	0.81

(出所：川崎・川崎北公共職業安定所「統計月報」)



（前出「統計月報」から、経済労働局作成）